

隠者の小道 - VIA AD HOMINEM SOLITARIUM -

倉石 清志

西暦289年のローマ帝国。
その威光の陰りが顕著になった時代。
イタリア半島の巨神山。偶然と必然の記憶。〈隠者の小道〉。
巨神山に通じる岩山の山道。山頂に住まう一人の隠者。
その名はアルカディウス。縁ありて訪ね人きたる。
神々の天空に近き山嶺における哲学的〈対話〉が始まる。

